

世界子ども水フォーラム・京都 実行委員会

Member List

■幹事

代表：嘉田由紀子（精華大学教授／琵琶湖博物館 顧問／水と文化研究会）
副代表：塚本明正（川とまちのフォーラム・京都 世話人代表）
実行委員長：大西賢市（有栖川を考える会／梅津自治連合会 会長）
事務局局長：小丸和恵（川とまちのフォーラム・京都 世話人）
事務局顧問：井手慎司（滋賀県立大学環境科学部 助教授／湖沼ネット代表）

■顧問

浅岡美恵（気候ネットワーク 代表／弁護士）
伊従 勉（京都大学人間環境学研究所 教授）
延藤安弘（千葉大学工学部都市環境システム学科 教授）
川那部浩哉（琵琶湖博物館 館長／京都大学理学部 名誉教授）
中川博次（立命館大学理工学部 教授／京都大学工学部 名誉教授）
口高敏隆（総合地球環境学研究所 所長／京都大学理学部 名誉教授）
米山俊直（大手前大学 学長／京都大学 名誉教授）

■世話役

飯田浩造（河川美化団体連合会 事務局長）
市古和弘（姉小路界隈を考える会 代表）
吉田静夫（淀大下津自治会 会長）

実行委員長：大西賢市（有栖川を考える会／梅津自治連合会 会長）

実行委員：青木一典（ボーイスカウトリーダー）
編屋慎三（出町ホテルの会 事務局）
小坂育子（水と文化研究会 事務局）
橋本夏次（近木川自然大学研究会）
山崎 隆（財団法人 萬世協会 委員）
吉岡 学（長岡京市立長岡第六小学校 教諭）
中村桂子（日本野鳥の会 京都支部 副支部長）
梶谷恵子（京都市立小野郷小学校 教諭／川とまちのフォーラム・京都）

プロジェクトリーダー：

井阪尚司（信楽町立雲井小学校 教諭／衛生野考現供倶楽部 事務局長）
相岡秀一（移動福祉教授～AGAIN～ 代表）
谷本雅一（右京区太秦まちまわり委員 委員長）
中谷明照（右京保健協議会連合会 会長）
原田 完（西新道商店街振興組合 事務局長）
松井 恵（京都環境アクションネットワーク 代表）
山田六郎（京都精華大学 学生）

■事務局スタッフ

広報：山本剛史（(有)古郷デザイン 代表／大阪成蹊女子短期大学 非常勤講師）
川とまちのフォーラム・京都

ホームページ：楠田恭一（出町ホテルの会 事務局）
会計：橋本夏次（近木川自然大学研究会）
実務処理：桑原淑美
渉外：塚本明正（川とまちのフォーラム・京都 世話人代表）
事務局補佐：鈴木康久（カッパ研究会／京都府職員）
井上大蔵（NPO法人古村パンクの会 会員）
八木清和（京都精華大学 学生）
（平成14年7月2日現在）

◆円卓会議が開催されました！



円卓会議報告書
A4変形×96ページ

2002年
3月16日(土)
17日(日)

2002年3月16-17日、「世界子ども水フォーラム」のスタートとして、円卓会議を開催しました。2日間で述べ200名にご参加いただきました。

嘉田由紀子（京都精華大学教授・琵琶湖博物館顧問・水と文化研究会）、井手慎司（滋賀県立大学助教授・湖沼ネット代表）、塚本明正（川とまちのフォーラム・京都）が、コーディネートをつとめ、暮らしを元とした「子どもが育つ川（水系）と地域の再生にむけて」をテーマに、行政（国土交通省・文部科学省・環境省・農林水産省）、教育現場、地域自治体、NPO/NGO的な活動をする市民、日本在住の留学生などが実践をもとに真剣な議論を展開しました。現在起こってきているさまざまな問題の解決に近づくには、総合、複合、横断的な各分野の連携、交流とともに、地域コミュニティの再生が不可欠であることがわかりました。それぞれの役割の現場の人たちで、現況を共有し、近い将来の大人や子どもたちの実践を模索し、試み、実行し、少しでも新たな再生の実体づくりをめざす目的への第一歩を踏み出しました。

■円卓会議報告書をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

■問い合わせ先：

世界子ども水フォーラム・京都

TEL/FAX. 075-231-5360

E-mail: kodomo-mizu-machi@acrweb.com

HP: <http://www.kodomo-mizu-machi.acrweb.com>

世界子ども水フォーラム

Children's World Water Forum

ご案内

Information



世界子ども水フォーラム・京都 実行委員会

会員募集中!

個人会員 (年会費) ¥1,000 (未成年無料)
団体会員 (年会費) ¥2,000

・ニュースレター郵送

・情報提供

・その他各種会議への参加資格 など

「世界子ども水フォーラム」にむけて

21世紀中頃には、現在60億人の地球人口は90億人をこえると予想され、水はますます貴重な資源となります。今、世界では劣悪な衛生状態や水汚染で大勢の子どもたちが死亡しています。子どもは女性とともに水汲みなどの仕事も余儀なくされています。一方、日本などの先進国では、化学物質による水汚染問題や、子どもたちの日常生活での水や自然とのふれあいの不足などが問題となっています。

2003年3月には京都・滋賀・大阪で、第3回「世界水フォーラム」が開催され、今後の地球規模の水問題の解決方向をさぐります。しかし、これまで、世界の水問題に対して、21世紀の主演である子どもたち自身が発言をし、意思決定に参画する機会はほとんどありませんでした。そこで、今回の世界水フォーラムでは、子どもたち自身が、主体的に水問題の多様な現状について学び、意見交換を行い、将来の方向について見通しをもつことができるような「世界子ども水フォーラム」を計画しています。

私たち、「世界子ども水フォーラム・京都」では、地元でのさまざまな活動を企画・推進しながら、世界の子どもたちと日本の子どもたちとの交流の場を創造していきます。国際的には国連児童基金(UNICEF)などとの協力を企画しています。

この機会に、多くの人びとに、子どもと水の将来に対して関心をもっていただき、今後の活動に参画、ご協賛いただけましたら幸いです。

世界子ども水フォーラム・京都

代表 嘉田由紀子(京都精華大学・琵琶湖博物館)

ローカルプロジェクト一覧

あなたは、どのプロジェクトに関心がありますか？
参加なさいますか？
どんなプロジェクトを行ってみたいですか？
現在、予定されているプロジェクトをご紹介します。

■各プロジェクトリーダーによるローカルプロジェクト■

- 1 きょうとあそび工房
大学生、高校生、ボーイスカウトのリーダーによるフィールドプロジェクト(各河川・野山などにて)自然体験学習との連動もあり
- 2 「紙芝居」による子どもたちへメッセージ
子どもたちが集まれるところ(公園、神社、寺の境内、学校、川辺など)で「水のなりたち」や「雨つぶのゆくえ」[水と環境]などの紙芝居をおして水の大切さを気づいてもらう
- 3 利き水デモンストレーション
- 4 京都の水と文化と生活パネル展示と勉強会
- 5 京都の地下水世界の水事情を考える(ポスターセッション)
- 6 桂川役くんだり
- 7 木嶋神社の湧き水を復活させる会
- 8 堀子川をきれいにして
「親水公園を目指す堀子川魚つかみ大会」
- 9 琵琶湖疎水と平安神宮の池を中心とした観察交流会
- 10 他神社での催し(今後場所を決定)水にまつわる歴史、文化についての勉強会と子どもたちの水遊び

■みんなで行うプロジェクト■

- 1 ロジャー・ハートさん(「子どもの参画」著者)を迎えての会
- 2 水と子ども今昔写真展・子ども写真コンテスト
- 3 遊んで学ぶ 淀川ワンドそして つくろう桂川ワンド(淀川水系流域委員有志も参加)
- 4 子どもたちと一緒に円卓会議
- 5 子ども新聞の発行

来年3月「世界子ども水フォーラム」でのプログラム(予定)

- ・各種交流プログラム
- ・子ども特派員
- ・子どもと閣僚会議
- ・子ども水会議
- ・コンサート ~うたで子どもを喜ばせよう~

KYOTO
SHIGA
OSAKA

第3回世界水フォーラムのご案内

開催日時：2003年3月16日(日)～23日(日)(8日間)
主会場：京都 国立京都国際会館
滋賀 びわ湖ホール/大津プリンスホテル
大阪 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
主催者：フォーラム-世界水会議/第3回世界水フォーラム運営委員会
閣僚級国際会議-日本政府
水のえん-各実行委員会
参加予定人数：フォーラム 参加者 8,000人～
閣僚級国際会議 参加閣僚 120人～
水のえん 来場者 15万人～

背景

平成4年(1992年)6月のリオアジェネイロの地球サミット以降、21世紀の持続可能な開発には「淡水資源管理」が必要不可欠な課題であるという認識が国際社会で高まりました。

世界水会議の設立

平成8年(1996年)、関係機関に政策提言を行うことを目的に水に関する国際政策のシンクタンクとして、UNESCO(国際教育科学文化機関)・WB(世界銀行)など水に関する国際機関等が中心となって世界水会議(World Water Council・WWC)が設立されました。

WWCの提唱により、平成9年(1997年)に「第1回世界水フォーラム」がモロッコ・マラケシュで開催、21世紀に向けた「世界水ビジョン」を策定することが決定されました。

第2回世界水フォーラムは平成12年(2000年)3月に、オランダのハーグ市において開催され「世界水ビジョン」が発表されるとともに、これを実行するための世界的枠組みづくりがまとめられました。

第3回世界水フォーラムは第2回世界水フォーラムで発表された「世界水ビジョン」を受け、ビジョンからアクションへと結びつける行動計画の策定が目標とされています。

Children's World Water Forum